

1. 科目名 (単位数)	図画工作Ⅱ (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2141								
2. 授業担当教員	森本 昭宏										
4. 授業形態	実技、講義	5. 開講学期	春期								
6. 履修条件・他科目との関係	図画工作Ⅰの単位を修得した後に履修することが望ましい。										
7. 講義概要	<p>図画工作Ⅰにおいて習得した基礎的な技能や知識をさらに深め、子どもの造形活動の事例を例証・傍証として取り上げ、表現活動を展開する上で必要とされるより実践的な力を身につけていくことを目的とする。</p> <p>実技や講義を主体として、具体的な素材体験や題材研究を重ね、保育者・指導者として保育実践の場に還元することのできる幅と深みを有した力を養っていく。発展的な制作活動のなかで造形の面白さを実感し、自己の表現を探究するとともに、他者の表現に共感できる感性を養い、子どもの創造性豊かな造形活動を支えるために必要な素養を身につける。</p>										
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 技術的な「上手・下手」にとらわれず、ものづくりの楽しさや表現の喜び、感動を実感として得る。 2. 子どもたちの生き生きとした表現に寄り添うことのできる感性と、柔軟な観察眼を養う。 3. 発達段階における造形の特徴を理解し、興味を引き出す題材設定や援助の在り方について学びを深める。 4. 素材体験や題材研究の経験を重ね、保育者・指導者として不可欠な基礎的造形力を身につける。 5. 造形活動を行う場の在り方について考察を深め、安全性に配慮された適切な環境を構築する力を養う。 										
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時の制作課題をファイリングして提出する。 2. 参考書第4章(1-2)「描画表現の発達論」と「子どもの描画の特徴とその背景」を読み合わせてそれぞれ600字程度で要点を記述する。その他課題については、授業の中で提示する。 										
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】梅澤実『保育・教育のための実践事例で理解する「表現」』創成社 授業の進行に伴って参考資料プリントを配布する。</p> <p>【参考書】榎英子『保育をひらく造形表現』萌文書林(図画工作Ⅰで購入済みの教科書も活用) 内閣府・文科省・厚労省編『幼保認定連携こども園教育・保育要領解説』フレーベル館</p> <p>【教材や道具など】準備が必要な物は事前に告知する。各自が用意する。</p>										
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども表現に寄り添った造形活動の在り方について考えを深め、実践的な力がついたか。(学習目標1・3) 2. 子ども造形表現の特色や、造形素材や題材化に関する知識が身につけられたか。(学習目標2・4) 3. 子ども豊かな造形活動を支える基礎的造形力、技能が身につけられたか。(学習目標5) <p>○評定の方法</p> <p>授業への取り組み、制作や鑑賞活動の成果、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3. 制作や鑑賞活動の成果(ポートフォリオ等)</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>4. 課題(作品発表、レポート等)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加	総合点の20%	2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み	総合点の30%	3. 制作や鑑賞活動の成果(ポートフォリオ等)	総合点の30%	4. 課題(作品発表、レポート等)	総合点の20%
1. 授業への積極的参加	総合点の20%										
2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み	総合点の30%										
3. 制作や鑑賞活動の成果(ポートフォリオ等)	総合点の30%										
4. 課題(作品発表、レポート等)	総合点の20%										
12. 受講生へのメッセージ	<p>本授業では、造形表現にかかわる発達の理解を深め、援助ができる実践的な力を習得。現場で用いられる様々な造形活動を楽しむことから始め、子どもたちへの適切な援助・配慮について理解するとともに、保育を改善する視点を身に付けることをねらいとする。具体的な指導場面を想定した模擬保育等を通じて、子どもの多様な表現にも対応できる応用力のある指導者を目指していく。</p> <p>また、幼稚園教育等の基本を踏まえ、領域のねらい及び全体構想、作品評価の考え方を理解する。造形における幼児の発達や造形あそび等の過程を理解した保育構想の向上に取り組む。</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 造形活動で用いられる様々な材料・用具(画用紙・紙粘土・筆等)は、各自が準備すること。授業内で随時伝えていく。 2. 絵の具などを使用するため、汚れても良い服装で出席すること。 										
13. オフィスアワー	別途通知する。										
14. 授業展開及び授業内容											
講義日程	授業内容	学習課題									
第1回	ガイダンスと班プレゼンテーション 主体的・対話的なグループ活動と模擬保育(新聞紙を使った表現) グループごとにテーマを決めて新聞紙で小道具の制作。又は着飾る。	事前学習	教科書 pp. 68~70 を読む。								
		事後学習	グループにおける自分の役割を明確にして、材料・用具を用いた共同制作の振り返りを行う。								
第2回	版を使った表現①【凸版 紙版画Ⅰ(切り取り版)】 紙の重なりによって遠近、空間、量感を表現する。ハサミで自由に切り取り主題を強調させる。	事前学習	参考書 p. 43, 137 を読む。								
		事後学習	刷りをイメージしながら、デザインを確定する。台紙のある場合の作品もイメージしてみる。								
第3回	版を使った表現②【凸版 紙版画Ⅱ(台紙版)】 台紙の範囲内で形の組み合わせや配置などを考える。工夫しながら版をつくる。	事前学習	紙工作体験を振り返り、材料・用具を準備する。								
		事後学習	刷ったことでわかる気づきやより工夫できると思われる点などを確認する。								
第4回	版を使った表現③【凸版 紙版画Ⅲ(台紙版)】 美しく刷り上げるための刷りの技法を理解する。バレンやローラーを使った様々な表現を楽しむ。	事前学習	事前配布資料を読む。								
		事後学習	刷りにみられる遠近・空間・量感の表現を確認する。版画の刷り方を楽しむ。作品をファイルする。								
第5回	子どもの絵の発達段階と様々な表現(造形表現の発達論・観察画・生活画ほか) 講義	事前学習	参考書 pp. 63~79 を読む。								
		事後学習	造形活動の発達段階を表にまとめる。								

第6回	芯材を使った粘土制作① 粘土の特性と種類 幼児の紙粘土の表現を鑑賞する。作品の大きさを想像して、計画的にピン、麻紐、割りばしなどをを用いた芯材をつくる。	事前学習	参考書 p. 157 を読む。
		事後学習	バランス・安定感の確認と芯棒に対する粘土の量を確認する。作りたい作品の参考資料を揃える。
第7回	芯材を使った粘土制作② 芯棒、骨組み、肉づけ、量塊、安定感など、粘土の表現と特性を理解する。	事前学習	参考書 pp. 57～61 を読む。
		事後学習	表現したいことやテーマを再度確認しておく。
第8回	芯材を使った粘土制作③ 着色、仕上げニス 作品展示や着色・保存の仕方についてと園内を飾る環境構成について考察。(鑑賞教育講義)	事前学習	参考書 pp. 180～183 を読む。
		事後学習	素材の特性を生かす仕上げと展示の工夫、制作工程をまとめてファイリングする。
第9回	光と影の世界(影絵シアター) グループワーク レジヨエミリアの幼児教育とドキュメンテーション	事前学習	教科書 pp. 62～65 を読む。
		事後学習	光と影の活用法についてまとめる。
第10回	光と影の世界(影絵シアター) グループワーク 光を活用した造形遊びの体験(演習と相互評価)	事前学習	教科書 p. 126 を読み、作り方を理解する。
		事後学習	発達段階を意識した環境構成等をまとめる。
第11回	影絵・ペープサート・人形劇の物語と歴史(心を動かす出来事との出会いと共有)	事前学習	事前配布資料を読む。
		事後学習	仕掛けの特性の理解と実習を想定した題材選定。
第12回	影絵シアターの演じ方と舞台設定(視聴覚教材の活用) 課題のまとめ 発表	事前学習	教科書 pp. 40～44 を読む。
		事後学習	相互評価コメントをまとめてファイリングする。
第13回	芯材を用いた紙工作(素材を親しみ工夫して遊ぶ)(立体工作の指導の方法を理解する)	事前学習	教科書 pp. 60～62 を読む。材料・用具の準備。
		事後学習	紙工作の素材の理解と用具・材料を準備する。
第14回	芯材を用いた紙工作(仕掛けなど様々な表現)(安定感・バランス感覚を養う)	事前学習	事前配布資料を読む。仕掛けの材料の準備。
		事後学習	作品の仕上げと、絵人形を演じる準備をする。
第15回	身近な材料を用いた題材設定(模擬保育、折り紙の凧など) 課題についてのまとめ	事前学習	教科書 pp. 65～67 を読む。材料と模擬保育の準備。
		事後学習	相互評価コメントをまとめてファイリングする。